

洋書輸入協会会報

VOL. 16
NO. 6

(通巻182号) 昭和57年6月

理事会報告

4月26日(月)

(一) グループ別会議

4月20日から23日の間にひらかれたグループ別会議(9グループ、8会議)について、それぞれを主宰した各委員長から報告された。

(二) 定時総会

関西支部の決算案および予算案を承認し、当日総会

前に理事会をひらくことをきめた。

(三) その他

5月12日(水)

(一) 4月分収支計算・予算対比表

総務委員会での検討の結果を承認した。

(二) 定時総会

総会の運営について打合せた。

(三) その他

定 時 総 会 報 告

昭和57年度定時総会は5月12日(水)午後2時から学士会館(本郷)にて開催された。

司会者、栗原氏(洋販)の開会のことばののち柴田事務局長から、正会員91社のうち出席38社、委任状提出33社、会計71社で総会が成立したとの報告があった。(その後の出席9社、委任状提出2社)賛助会員の出席は11社であった。

ついで司会者から昭和56年度に入会の新会員、株式会社ニュートリノ、太陽洋書株式会社、バターワース出版社日本事務所、トーマス・ネルソン社東京事務所、ジ・ユニバーシティ・プレス・グループが紹介された。

ついで恒例の自己紹介ののち、理事長代理、福田忠氏(丸善)から大要次のような挨拶があった。

「昨年10月～12月期に年率3.5%のマイナス成長を記録した国内景気は、内需不振、輸出鈍化など停滞色が強まり、政府の57年度経済成長率見通しも3%そこそこの低成長に修正されつつある。

海外では、アメリカ経済がインフレは落ち着きを見せたものの、予想外の景気後退に陥り、財政赤字、高金利持続の中で試練に直面している。長期停滞が続けたヨーロッパ経済も金利引下げによるテコ入れを図っているが、アメリカの高金利が障害となり、またアメリカ景気の後退があいまってきびしさを増している。

このような内外情勢のもとで我が国経済は、内需不振に加えて対外経済・貿易摩擦が激化するなかで、輸出関連産業の収益伸び悩み、円安による輸入産業への打撃な

理事会報告……………1	外国出版社紹介 No.88 ……4	シュプリンガー社の移転……………5
定時総会報告……………1	海外ニュース	総代理店ご案内……………5
文化厚生委員会だより	ワイリー社がヘイデン社を吸収	来日外人名簿……………5
テニス同好会……………3	合併……………4	広告……………6

ど企業業績も先細りの様相を強めている。また不況下での政府文教予算増はゼロシーリングであり、これを基盤とする購買力は全く冷えこんで一層深刻化している。

会報に報じられた輸入通関統計によれば、昨年の洋書雑誌の輸入額は前年比82%と約2割近い減少を示した。一方、外資大手取次業者の日本市場進出が具体化しつつあり、業界を取巻く営業環境はきびしさを増しているが、顧客へのサービス・ニーズに応えながら需要の落ちこみをカバーし市場の維持拡大を図ってゆくのが我々に課せられた任務である。

洋書輸入協会のルーツは昭和16年3月に19社をもって結成された海外出版物輸入同業会であるが、年々発展の一途を辿り現在に至った。今後更に協会の強化発展を願って、また協会の目的とする日本文化の進歩発展に寄与すべく努力したい。皆様がたのご協力をお願いする。」

福田理事長代理はついで理事会報告にうつり、昨年度は6月19日(金)にMr. Graham (Butterworth)をリーダーとするBook Development Council Missionと友好的に会談を行ない有意義であったこと、また9月に外貨預金の利用度拡大を図ったことを報告、詳細は「会報の理事会報告」および次に行なわれる各委員会の報告にゆずった。

ついで各委員会報告にうつり、総務(丸善・大脇氏)、会報(極東書店・一條氏)、企画渉外(U.S. Asiatic・山川氏)、ダイレクトリー(東光堂書店・石内氏)、洋書交換(国際書房・服部氏)、雑誌(日本出版貿易・岸氏)、文教(紀伊國屋書店・吉本氏)、通関(洋販・栗原氏)、文化厚生(三洋出版貿易・武田氏)各委員長から、昭和56年度の活動および昭和57年度の抱負につきそれぞれ報告があった。

ついで昭和56年度決算報告が大脇氏によりなされ、佐野氏(南江堂)、山縣氏(内外交易)の監査報告ののち、拍手で可決、承認された。

ついで丹羽氏(緑書房)から関西支部報告、昭和56年度関西支部決算報告がなされ、いづれも拍手で可決、承認された。

ついで役員選挙にうつり、福田理事長代理から選挙管理委員に、中央洋書(前橋氏)、第一出版貿易(佐々木氏)、福本書院(福本氏)、白鷗洋書(秋山氏)、教文館(渡辺氏)、トッパン(関野氏)、UPS(上杉氏)の7社を委嘱し投票に入った。一時休憩ののち上杉氏から開票結果が発表されたが当選者は次の通りであった。

理事	投票総数	77票	有効	76票
	丸 善		紀伊國屋書店	
	極 東 書 店		洋 販	
	日本出版貿易		三洋出版貿易	
	国 際 書 房		ユー・エス・エシアテック	
	東 光 堂 書 店	次 点	中 央 洋 書	
監事	投票総数	77票	有効	75票
	南 江 堂			
	内 外 交 易			
	次 点	丸 善		

関西支部選出役員

理事	緑 書 房
	北尾書籍貿易
監事	オーヴィス

総会を一時休憩して新理事会が開催され互選の結果、丸善が理事長に再選された。福田氏から「極めて多事多難な社会情勢と多くの問題を抱えている業界の中で、責任を全うしたい。」との挨拶があった。

ついで大脇氏から前回定時総会での諒解事項に基く会費の一部改正について説明があり、昭和57年度予算案が提案され、いづれも拍手で可決、承認された。

ついで丹羽氏から昭和57年度関西支部予算案が提案され、拍手で可決、承認された。

以上の議事が終了したのち、相良氏(紀伊國屋書店)から昭和56年の通関統計についての説明があり、ついで栗原氏(洋販)から前回総会で要請した「販売活動をされている賛助会員の正会員への移行」について再度の要請があった。

さいごに相良氏が閉会の挨拶にたち、「日本全体がマイナス成長の兆しを見せ始めたが、我々業界も例外ではない。世界出版界の不況のためもある、我々の同業ともいべき外国取次店の参入も始まり、小さなパイをめぐって激しい競争が展開されつつある。しかし、例えば英国のように大学図書予算が軒並み20%も減少している所と比較すれば、日本はまだ恵まれた環境であるといえよう。競争は商売の宿命であり、また競争の中にこそ進歩があるのであるから、お互いの切磋琢磨とお互いの親睦だけは持ち続けたいと願っている。」旨をのべ、総会をとした。

5時30分から恒例の懇親パーティにうつり、東光堂書店石内氏の音頭による乾盃で宴を開き歓談のひとつきをした。



文化厚生委員会だより

テニス同好会

『5月22日晴。協会のテニスクャンプに初めて参加。お友達もみなやっているし何しろウェアがカッコ良くて。前回の2倍位集まったらしいけど仕事熱心な男性が多そう。でも皆川さん(アカデミック)は勿論皆さん揃って気が易しくて道中色々声をかけてもらう。コートでは暑いくらいの天気、囲りの緑が濃淡様々でニューボールがとても綺麗。早速中井さん(アカデミア)がカッコイイコーチ役、久し振りだったのに誉められて上気分。まだ夕方明るいのに初日終了幹事も察して時間延長。お風呂の後は夕食と宴会幾らか心配したのに旨く乗せられてつい歌ってしまったらすっかり楽しくなる。カラオケってはやるハズ。おかげで合わなかった顔と名前が一致桜井さん(エイビス)北村さん(ハーバー)等この会の代表的メンバーもしっかり憶える。早寝をしたのに廊下では昨今の業会のまとまりや腰の弱さを憂える人やセブンイレブン並に働らいても償われないと声高だったけどやはり夢みたい。次の日ダブルス大会は初心者と上手な人のペアとか。荒木さん(マグロー)の案で全員参加誰でも最底2試合。お相手には迷惑だったかしらでもたまにラケットを出したのが運よく当たったりして言わなかったけど一回戦の勝には役立ったと自負する。決勝戦はロクに見なかった(お腹が空いて)。途中で時間切れとかで後

でジャンケンで決めてた。だから準優勝の足立さん(ESP)は本当に残念そう。初参加なのに原武さん(Oxford)はクリスタルのレリーフを贈られて大喜び誰が見ても頑張っていたもの。総明な女性陣の代表鈴木さん(Oxford)は結局ご主人を下して優勝あ家庭大丈夫かなあ。』

〔ダブルス大会の記録〕 1位一鈴木(Oxford)+高橋(南江堂) 2位一足立(ESP)+鈴木(ネルソン) 3位一黒木(マクミラン)+宮城(UPS) 4位一鈴木(ミロブック)+黒田(オリオン) 賞品：優勝カップ、レリーフ水上社長(マイブック) 寄贈 協賛：協会厚生部

(従軍記者)



Librairie Larousse

17, Rue du Montparnasse, 75298 Paris (CEDEX 06)

フランスの辞書、百科事典の出版社として世界的な名声をもつラルース社は、正式名称リブレリー・ラルース (La Librairie Larousse)、本部はパリ市モンパルナス街17番地にある。創立者は、19世紀の前半に生れた教育家で、言語学者、出版人としても精力的な活動をしたピエール・ラルース (1817~1875) である。1852年にオーギュスタン・ボワイエ (1821~1896) と二人で当初はフランスの小・中等学校の語学教育書を専門とする出版社兼書店を、パリ市ボーマルシェ街に開業した。二人ともブルゴーニュ地方出身の、若い教師であったが、特に P.ラルースは、自ら「初年度の辞学的文法」(1852年刊) 及び「学校教育のための辞学」(1854年刊) の二冊を著し、これが当時の教育界に堅い読者、支持層を獲得し、まずラルース社の基礎を作った。その後1863年より、十九世紀フランスを代表する大辞典「十九世紀ラルース大事典」全二十八巻の刊行に着手。1876年に完結させた。これはフランスの出版史上に残る大企画で、堂々二万頁をこえる充実した内容である。当時のフランスの学者、専門家約三十余人が協力して寄稿し、ラルースが自ら監修した。その後同社は、語学書、教科書、教育書、辞事典及び定期刊行の文芸誌、百科雑誌など幅広く手を広げ、フランスの代表的な出版社として成長。有名な「プチ・ラルース小辞典」の刊行は1905年で、これは空前のベストセラーとなり、刊行当初18ヶ月間に、十八回増刷されたという。1922年には高級文芸誌「ヌヴェル・リテレル」が創刊されたが、このころより社屋は現在地に移り、以後「二

十世紀ラルース」全七巻 (1928~1933)、そして「グラン・ラルース百科事典」全十二巻 (1959~1965) と、いずれも各時代のフランスの学問の総決算としての代表的なリファレンスを出版し、一躍世界有数の出版社としての声価を獲得した。現在、同社は株式会社に組織替えをして十年余を経て、経営も全く近代的な企業として新しい出版活動の陣容を描えており、リファレンス物のみならず、芸術書、旅行案内、児童書、劇画、あるいは実用書、科学書そして言語、語学書と多角的な出版企画をすすめている。1980年度の年間売上高は約260億円で、フランスでは単独の出版社としては第一位、出版グループとしても第三位にある。従業員900名、年間の販売冊数は1,500万冊。海外支社はブラッセル、ジュネーヴ、モントリオール、ニューヨーク、メキシコ、ブエノスアイレスの六都市にある。周知のとうり、本年より四年がかりで同社は社運を賭けて「ラルース大百科辞典」(普及版全十巻、上製版全十五巻) の刊行を開始したが、これは、フランスにおける最新、最大のリファレンス・ワークとして今世紀の掉尾を飾る出版となろう。印刷、製本、収録内容などを散見しても、現代では世界最新の百科辞典として、充実した内容を示している。商標の「種を蒔く少女」の独白、「私は全ての風に抗って、種を蒔く」が代弁するとうり、ラルース社は伝統と革新の両面を重んずるフランスの代表的な出版社として、1980年代は又、果敢で独創的な出版物を開発していくことであろう。(K.W.)

海外ニュース

「ワイリー社がヘイデン社を吸収合併」

アメリカの John Wiley & Sons はロンドンの Heyden & Son Ltd. の全出版プログラムを買い取った。その金額は明らかにされていないが、これにより Heyden 社は Wiley 社のヨーロッパの子会社でイギリスに所在する John Wiley & Sons Ltd. に合併されることになった。Heyden 社の創立者 Gunter Heyden は Wiley 社の取締

役会に加わることになり、同社の社員も一部は残る模様。

Heyden 社は、約20年前に創立され、もっぱらサイエンス書、とくに分析化学、分光学、医学、看護学などの分野の本を出版してきた。年に約20点のオリジナル、10~30点の共同出版物を出し、既刊書は約300点。雑誌は学術専門誌16点を出している。年間売り上げ高は4.5百万ドル前後であった。

この吸収合併は、本年5月6日より発効の由。(Publishers Weekly 5月21日号等より)

「シュプリングー社の移転」

ドイツの Springer-Verlag は、去る 5 月 10 日に創立 140 周年を迎えたが、それに先立つ 5 月 7 日に多数の来賓、学者、書店関係業者の参加のもとに、ハイデルベルクの新社屋の竣工式を行った。

新社屋はネッカー河畔に 2 年間の歳月をかけて、6 階建て、延べ 17,000 平方メートル、26.5 百万マルクの費用をかけて建設されたものである。従業員約 300 名はこの新社屋に直ちに移ったが、スペースはたっぷりあり、今後 10 年間は余裕がありそうである。

同社は、戦後ベルリンとハイデルベルクを本拠地としてきたが、1977 年にハイデルベルクに建設された近代的な配送センターに加えてこの新社屋ができたので、ハイデルベルクの比重がとみに高まったようである。

(Börsenblatt、5 月 14 日号より)

—紀伊國屋書店提供—

総代理店ご案内

(株)紀伊國屋書店 ☎354-0131
OFFICE FOR OFFICIAL PUBLICATIONS OF THE
EUROPEAN COMMUNITIES, Luxembourg
.....All publications

丸 善(株) ☎272-7211
Dunhill, M.S.-Pulmonary Pathology.
(Churchill Livingstone)ca ¥17,360
Glasspool, M.G.-Ophthalmology: A clinician's guide.
(MTP Pr.)ca ¥17,330
1981 Supplement to the German Civil Code and
Introductory Act to the German Civil Code and the
Marriage Law of the Federal Republic of Germany.
(F.B. Rothman)ca ¥4,000
Rogers, L.F.-Radiology of Skeletal Trauma.
(Churchill Livingstone)ca ¥40,300

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社
☎(03)262-5278
アメリカ図書館人名録: Who's Who in Library and
Information Services.
Edited by Joel M. Lee. 736 pp. (American Library
Association)ca. ¥48,000
Vision Press Ltd. (U.K.).....All Books

Virago Press (U.K.).....All Books
次の出版社の代表業務を停止いたしました。
R.D. Irwin, Inc. (U.S.A.)
Business Publications. Inc. (U.S.A.)
Dorsey Press. Inc. (U.S.A.)
Dow Jones-Irwin, Inc. (U.S.A.)

来日外人名簿

3 月下旬 Mr. John Adamson, Export Sales Director,
Cambridge University Press, Cambridge
" Mr. Alain R. Liss, President,
Alain R. Liss Inc. New York
4 月上旬 Prof. Dr. Friedrich Piel,
Institut für Kunstgeschichte, München
4 月中旬 Mr. Jérôme Jullien-Cornic, Jullien-Cornic
International Art Books, Paris
" Mr. Alain Thiollier,
L'Asisthèque-Librairie, Edition, Paris
" Mr. Lionel Orvain, Directeur de l'exporta-
tion, Hachette International, Vanves
4 月下旬 Mr. Martin Berke, Sales Director,
Book Service International, Bridgeport
" Miss Janet Joyce, Sales Manager Far East,
Harcourt Brace Jovanovich Inc., New
York
" Mr. Paul Sheldon, Area Manager,
Hodder & Stoughton, Sevenoaks
" Mr. William A Snyder,
International Marketing Director,
Pergamon Press, Oxford

ダイレクトリ委員会からのお願い

JBIA DIRECTORY 1982 の会員名簿 25 頁に、下記太字の部分が記載もれとなっておりましたので追記願います。

株式会社 丸田書房

〒606 京都市左京区聖護院円頓美町 47-5

京都グランドハイッツ 202 号

MARUTA SHOBO INC.

Kyoto Grand Heights No.202

47-5 Shogoin-Entomicho, Sakyo-ku, Kyoto 606

以上、お詫びしてお知らせします。

新刊洋書(1982年出版)

好評発売中

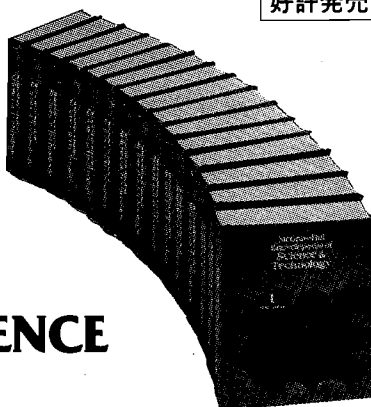
現代科学技術の知識の宝庫

マグロウヒル

科学技術百科事典 第5版

全15巻 定価 ¥ 260,000

The McGraw-Hill ENCYCLOPEDIA OF SCIENCE AND TECHNOLOGY, 5/e



「第5版」の出版を歓迎する

雑誌 Newton 編集長・東京大学名誉教授

竹内 均

この「マグロウヒル 科学技術百科事典」の初版の作製作業が始まったのが1957年、それが刊行されたのが1960年であると聞いている。今度世に出るのはその第5版である。全15巻で物理科学、生命科学、地球科学、工学、数学の全分野をおおうこのように大きい百科事典を、約20年の間に5度も版を改めるといったことは、たやすくできることではない。そのための資本だけでも莫大なものになることは、科学雑誌の編集長をしている私にはよく実感される。しかし現代のように科学の進歩の激しい時代には、これはぜひしなければならないことである。そのぜひしなければならないことをみごとにやってのけたというだけでも、その努力と良心に頭が下がる。

この第5版には、300の新しい項目を解説するために、新しい1000ページが加えられたという。そう言われて見ると、遺伝子工学、ビデオディスク、産業用ロボット、太陽エネルギー、人工頭脳、サーモグラフィー、音声の認識と応答、トモグラフィーなどの、ぜひ丹念に読んでみたい新しい項目がつけ加えられている。これらの新しい分野が自分の専門外であるなどといったのんきなことは言っていられない。いつのまにかそれが自分の専門分野とかかわりを持ち、社会に大きい影響を与えるようになるのが現代の特徴である。そういう意味でこの百科事典を、科学技術系の研究者、研究所、図書館、さらには広く一般の人々におすすめしたい。美しい図版や写真を収めたこの百科事典の旧版を私は愛用してきた。それだけにこの第5版全15巻の同時出版が歓迎されるのである。

- ご注文は、弊社新宿本店、各店洋書売場、各営業所の他、最寄りの洋書店にても承っております。
- 新宿本店、梅田、福岡、札幌各店では現品の展示即売を行っております。
- 本百科事典の解説パンフレットをご希望の方は、最寄りの弊社各店洋書売場か各営業所へお申し付け下さい。

日本総代理店
株式会社 紀伊國屋書店
KINOKUNIYA 番180-91 東京都新宿区新宿3-17-7 電話(354)0131

昭和57年6月 通巻第182号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329